

モニタリング結果報告書

施設 音楽堂

指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団

施設所管課 神奈川県県民局くらし文化部文化課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A: 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
 B: 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
 C: 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
 D: 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

| 報告月 | 受理日 | 備考(確認事項等) |
|-----|-------|--------------------------|
| 4月 | 5月10日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |
| 5月 | 6月10日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |
| 6月 | 7月8日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |
| 7月 | 8月9日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |
| 8月 | 9月9日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |
| 9月 | 10月7日 | 月報等で業務が適切に行われていることを確認した。 |

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

1 施設維持

利用者サービス向上を図るため以下の対応等を提案した。

- ①引き続き開館日・時間についての柔軟な対応。
- ②利用に伴う手続きの改善。
- ③歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施。

2 文化事業

音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、事業企画の実施を提案した。

- ①県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として木のホールの音響と空間を活かす。
- ②子ども・青少年への音楽体験を積極的に提供する企画を実施。
- ③外部資金確保の努力を提案。

<実施状況>

1 施設維持

- ①休館日の臨時開館(6日間)、早朝からの開館(貸し館で、午前8時台、計19日間)。
- ②申込期限について、従来の10日前から7日前に変更のための手続きを実施した。
- ③「県立音楽堂長寿命化及び居心地向上のための現状把握報告書」を作成し、県に提出した。

2 文化事業

- ①4月 神奈川芸術劇場開館記念・第18回神奈川国際芸術フェスティバル参加公演「クラシックな休日を♪in音楽堂」を実施。入場者数531人。東日本大震災後初の主催公演であったため、冒頭、音楽堂からホールの耐震性について説明をした。終演後出演者も参加しての募金を実施。

○ 音楽堂が「イットウォーク・シリーズ」 「マリア・ジョアン・ピリス」(5月) 「コレギウム・ヴォカール」(6月) 公演は東日本大震災と原発の影響で出演者が来日を取りやめたため実施せず。

8月 大野和士のオペラ・レクチャーコンサート 入場者数 810 名。

9月 「音楽堂・建築見学会」(入場者数 406 人*定員 400 名) 及び「鮫島有美子ソプラノ・リサイタル」(入場者数 780 人) を実施。いずれも平日昼間の実施により、新たな客層へのアピールを行った。

上記を含む自主事業 6 演目 10 公演(アウトリーチ及び公開リハーサルを含む)、共催事業 8 演目 15 公演を実施。

②本年度から新たに始める「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!」を実施。神奈川フィルのオーケストラ公演を中心に、アウトリーチ、バックステージ・ツアー、ミニコンサート、公開リハーサル、ワークショップ、本公演時ロビーでの楽器体験コーナー、終演後の交流会等関連企画を取りそろえ、4 日間にわたる体験型事業とした。本公演の入場者 586 人。関連事業の参加者 451 人。事前アウトリーチ(小田原市内小学校)の参加者 486 人。

①②とも公演の制作過程や当日の様子等をホームページブログ「音楽堂日記」で情報提供。

③文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業中核施設に採択され、7,116 千円の補助金内定。対象は子ども・青少年への音楽体験を提供する「マエストロ聖響」「メサイア」「プラットフォーム」の 3 事業を主要な対象とする。その他「ニューイヤー・コンサート」に芸術文化振興基金から 2,400 千円の助成金の内定をいただいた。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

| | 収 入 額 | | | | 支出額 | 収支差額 |
|------------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|--------|
| | 収入合計 | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | | |
| 年間予算額 | 248,109 | 174,182 | 34,300 | 39,627 | 248,109 | 0 |
| 今期（前期） | (261,601) | (188,659) | (34,000) | (38,942) | (259,935) | (0) |
| 上半期 予算額 | 113,620 | 76,695 | 17,148 | 19,777 | 113,620 | 0 |
| 4 月 | 9,367 | 7,556 | 1,807 | 4 | 4,150 | 5,217 |
| 5 月 | 17,250 | 13,963 | 3,177 | 110 | 15,630 | 1,620 |
| 6 月 | 23,016 | 19,631 | 1,743 | 1,642 | 18,384 | 4,632 |
| 7 月 | 15,538 | 11,512 | 4,002 | 24 | 12,032 | 3,506 |
| 8 月 | 13,874 | 11,505 | 1,767 | 601 | 19,276 | △5,402 |
| 9 月 | 15,556 | 12,528 | 2,988 | 39 | 18,950 | △3,394 |
| 今年度 半期計 | 94,603 | 76,695 | 15,486 | 2,422 | 88,424 | 6,179 |
| 前年度 同期計 | 124,367 | 89,152 | 15,740 | 19,474 | 109,655 | 14,712 |

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

⇒該当なし

| | 金額 | 工事箇所・内容 |
|-----|----|---------|
| 上半期 | 0 | |
| 下半期 | — | |
| 総額 | 0 | |

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

| | 内容 | 金額(千円) |
|--------|----|--------|
| 収入の状況 | | |
| | | |
| | | |
| 支出の状況 | | |
| | | |
| | | |
| 積立等の状況 | | (期首) |
| | | (期末) |

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|----|---------|----------|---------|
| 4月 | 8,894人 | 10,718人 | △17.0% |
| 5月 | 10,070人 | 9,414人 | 7.0% |
| 6月 | 15,340人 | 13,610人 | 12.7% |
| 7月 | 16,105人 | 15,630人 | 3.0% |
| 8月 | 12,532人 | 13,854人 | △9.5% |
| 9月 | 13,341人 | 12,172人 | 9.6% |

| | 目標利用者数 | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 目標対比増減率 | 前年対比増減率 |
|------|--------|---------|----------|---------|---------|
| 今年度計 | — | 76,282人 | 75,398人 | —% | 1.2% |

利用状況に関する意見等

- ①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|------|------|------|------|-------|-------|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 4(0) | 4(0) |
| 5月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 6月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 7月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 1(0) | 1(0) |
| 8月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 13(0) | 13(0) |
| 9月 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 20(0) | 20(0) |
| 合計 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 38(0) | 38(0) |

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|-------------------|---|
| 施設・設備 | ・座席が狭い(8件) | 建築構造上、変更改修が難しい。座席自体の座り心地改善へのプランあり。 |
| | ・開場前に外で待たされる(1件)。 | 構造上、ホールロビーなど、開場前の時間帯に自由に入出りできるスペースがないため、早めに来館して正面に並んでお待ちいただくしかない。可能な限り開場時間を予定より前倒しし、対応している。 |
| 職員対応 | ・特になし。 | |
| 事業内容 | ・特になし。 | |
| その他 | ・特になし。 | |

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

| 発生日 | 概要・対応状況等 |
|-------|--|
| 7月16日 | 客席内の階段を踏み外した女性客が、席についていた他の女性の後頭部にぶつかった。両者ともに本人と相談の上、救急車を要請し病院に搬送されたが、検査の結果、前者は打撲、後者は異常なし。両者とも見舞金は受け取らず。階段の昇り降りについてアナウンス等で注意を呼びかける。 |
| 9月19日 | 利用を予定していなかった応接室で、主催者がクローゼットに入れた荷物から財布が盗まれた。従前から、施設利用者には利用説明の際に、貴重品の保管は施設に設置してある貴重品ロッカーを利用するよう説明しているが、改めて、利用を呼びかけている。 |
| 9月24日 | 貸館観客(70代女性)が公演終了後、客席内の階段から(2階)通路に降りる際、雑音に気をとられ最後の一段を踏み外し転倒。本人の希望により救急車の出動を要請。右ひざ下を骨折の診断。入院。公立文化施設災害補償保険の見舞金で対応予定。 |

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

⇒該当なし

| 実施日 | 対応者等 | 経緯・調査内容 | 調査結果 |
|-----|------|---------|------|
| 月 日 | | | |

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

| | |
|--------------|--|
| <p>指定管理者</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災と原発事故に影響を受けた貸し館利用や主催共催事業の中止・延期、夏季の電力不足対応など、これまでにはない事態をその都度冷静に受けとめ、財団全体で連携をとりつつ、施設維持、貸し出し、事業実施などは確実にその業務を遂行している。 ・ホールや備品等の老朽化により、各種保守点検での指摘事項や、小破修繕も多数出ている。また高齢者がホール内だけでがをする事故も起こった。内容を精査し優先順位をつけて随時更新・修繕を検討すると共に、細かな工夫を重ね、安全で、少しでも快適なホールであることを目指している。 ・利用者の要望に応え、開館日や利用時間など可能な限り弾力的な対応をし、また親切な対応でリピーターを保持し、利用率収入増につなげている。 ・主催事業では、子ども・青少年を対象とした体験型オーケストラ公演を夏休み期間に実施し、新聞、テレビ等に取り上げられた一方、高齢者・リタイア層などを対象とした平日昼間の主催事業を実施して多くの聴衆を集め、県民の観賞機会の広がりにも努めている。 |
| <p>施設所管課</p> | <p>第2期指定管理期間（平成23年度～27年度）が開始されたが、東日本大震災により、貸し館利用のキャンセル、海外からの出演者が来日を取りやめたため主催公演が中止となるなど、大きな影響を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに実施した子ども・青少年を対象とした体験型オーケストラ公演「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」では、本公演に関連した公開リハーサルやワークショップを実施したほか、平日昼間の主催事業を実施し新たな観客層の開拓に努めるなど、高い芸術性を有する文化芸術の創造発信に努めるとともに、県民の観賞機会を広げるための企画に工夫をこらしており、観客の満足度も高く成果をあげている。 ・昭和29年の開館から約60年が経過しており、平成20年度に耐震補強工事は実施したものの、施設・設備の老朽化、バリアフリー対応の必要性、トイレの数の不足などの課題がある。 <p>指定管理者には、引き続き、施設・設備の保守・点検について万全を期して、管理・運営にあたっていただくとともに、災害時においても、来場者等の安全、安心が確保できるような体制の確保にも留意していただきたい。</p> <p>なお、老朽化等の課題は、県と指定管理者で、検討・協議を行い、課題を整理し、優先順位をつけながら、施設・設備類の改修、修繕、更新を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備面での制約はあるが、「木のホール」音楽堂の施設特性を活かした管理運営に努め、県民サービス向上を図り、利用率、利用者数、利用料金収入の向上につなげていただきたい。 |